

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

2000.2.10 No. 5086

2/26~27 三組合(全日建関西生工支部・港合同・動労千葉)呼びかけの

2000年春闘勝利!学習・交流集会へ

二〇〇〇年春闘は、日経連の春闘破壊の全面化の前に重大な岐路に立たされている。こうしたなかで昨年に引き続き二月二十六・二十七日に、動労千葉、全日建関西生工支部、全金港合同の三組合の主権・呼び掛けによる「二〇〇〇年春闘勝利!学習

賃下げ・リストラ攻撃と対決し、春闘を再構築しよう!

日経連は春闘前に発表した労働問題研究会報告(労働研報告)で、ついに賃下げを資本の春闘方針とした。いわく「総額人件費は引き下げざるをえない」「賃金水準のみならず、賃金体系、退職金・年金などの見直し、ワークシェアリングなど、労使が痛みを分かち合う施策を検討する」などこれまで以上に二〇〇〇年春闘を賃下げ・大リストラの全面化の攻撃として打ち出している。もはや資本の側は「春闘」さえも労働者の労働条件や社会保障制度を奪う場として位置付けていると言つて過言ではない。こうした事態を可能としたのは、連合が日経連と同じ立場にたつて、全面的な屈

・交流集会」が静岡県熱海市で開催される。昨年の十一・七全国労働者集会に引き続き、闘う労働組合の全国ネットワークの発展にむけてこの学習・交流集会の成功をかちとろう。全支部から結果しよう。

伏を深めているところにある。連合の路線では、もはや労働者の生活と権利を守ることなどできない。いまこそこうした賃下げ・リストラ攻撃を粉碎し、労働者の生活・権利の防衛に、二〇〇〇年春闘の大爆発をかちとろう。

二八反動判決以降とくに顕著になつてきている。もはや資本にとって労働委員会制度など無きに等しいものにならうとしている。

ここにち日本のあらゆる労働現場で国鉄分割・民営化型の攻撃がふきあれている。企業の規模の大小を問わずリストラ攻撃の中心は、分割・民営化を真似た選別・再雇用であり、臨時社員化の攻撃である。それは五・

労働組合の全国ネットワークを強化・発展させよう!

さらに労働者をめぐる社会保障制度の全面的解体攻撃が続いている。年金、医療保険の改悪

につづいて、雇用保険改悪、介護保険、確定拠出型年金(401k)の導入など社会保障の大

二〇〇〇年を組織拡大と、全国ネットワーク運動の発展の年に

労組交流センター定期全国総会開かれる

2月5・6日の二日間にわたり、熱海市・「熱海ビレッジ」で、労組交流センターの定期全国総会が開かれた。

総会には、会場一杯の代議員・傍聴者が結集し、「二〇〇〇年を交流センター組織拡大と全国ネットワーク運動の大発展の年として、活路」のスローガンのもとに、活発な討論や活動報告が行われ、新年度の闘いの方針が決定された。われわれは、世界恐慌の切迫

資本主義の危機の深まりのなかで産業報国会への転落を深める連合路線と対決し、階級的労働運動の壮大な復権をめざして、その剣が峰として二〇〇〇年の闘いに決起しなければならぬ。全国総会はその決意みなぎる熱気のなかで大成功のうちに終了した。

なお、二〇〇〇年度新役員には、佐藤 芳夫・中野 洋 両代表運営委員をはじめとした運営体制が再任された。

改悪が続こうとしている。

もはや労働者とその家族は闘わなければ生きることの出来ないう状況を迎えている。春闘を労働者の生活と権利をかけた闘いとして再構築しよう。とりわけ闘う労働者・労働組合の全国ネットワークの強化・拡大・発展をかちとることが急務となつてきている。二〇〇〇年春闘勝利!学習・交流集会の成功をかちとろう。ILO中間報告を武器に、国鉄闘争勝利にむけて闘いぬこう。今春闘を貨物会社の超低額回答打破、大幅賃上げ獲得、組織拡大春闘として全力で闘いに立ち上がろう。

第42回 定期委員会に集まる

● 2月19日(土) 13時
● 労働者福祉センター